

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科：国語 科目：現代の国語 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（ 数研出版 現代の国語 ）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書・読					
「読む」と「書く」／書けない日々 【知識及び技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。 ・教科書、プリント、ICTの活用		○	【知識・技能】 筆者の論に即しながら、言葉を「書く」ことによって自身の思考が認識されることについて、自分の考えを深めることができる。 【思考・判断・表現】 本文の論理の展開を踏まえて、筆者の考えや本文の内容が的確に伝わるよう、表現を工夫しながら根拠を示して説明できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 的確に本文の論理展開を読み取って、積極的にわかりやすく説明しようとしている。	◎	○	○	3
【知識及び技能】 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、社会と文化／水の東西	・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めている。 ・二つの文章において筆者が論じている内容を粘り強く読み解いて、その要点を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。 ・教科書、プリント、ICTの活用		○	【知識・技能】 異なる文章において、それぞれに具体例や言い換えを用いて筆者が述べようとしている「知性」について、統合的に理解できている。 【思考・判断・表現】 ・本文から読み取れる「知性」の内容と、「反知性主義者たちの肖像」から読み取れる「知性」の内容を複合させて、まとまりのある内容に仕上げている。 ・本文の表現を生硬なまま抜き出して組み合わせるのではなく、内容を理解したうえで自分の言葉でうまく言い換えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・本文の内容を踏まえて具体的事例を複数あげ、日本と西洋の文化の違いについて自分の考えを深めることができる。 ・筆者が述べる日本と西洋それぞれの「水」に対する思想を的確に理解したうえで、「水」以外の事例における日本と西洋の違いについて適切にまとめることができる。 積極的に他の例をあげ、他者にわかりやすく文章化できている。	◎	○	○	3
【知識及び技能】 個別の情報と一般化された情報との関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・筆者の意見を踏まえた事例について粘り強く考察し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。 ・教科書、プリント、ICTの活用		○	◎	◎	◎	○	3
新しい視点／「わらしべ長者」の経済学	・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。	○	◎	◎	◎	◎	◎	1
【知識及び技能】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。	○	◎	◎	◎	◎	◎	3

1 学期	新しい視点／ポスト・ブライバシー 【知識及び技能】 推論の仕方を理解し使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・推論の仕方を理解し使っている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・筆者の考えを参考にしながら実社会の状況や問題点を粘り強く考察し、学習課題に沿って説明しようとしている。 ・教科書、プリント、ICTの活用	○	◎	【知識・技能】 「今日の社会が向かっている方向性」について、筆者の論を交えながら筋道立てて考えることができる。 【思考・判断・表現】 「アイデンティティ」のあり方が「対面的な人間関係」によるものから「コンピュータ管理された自己情報」へと変容しているという筆者の論を適切にまとめ、それを踏まえたうえで、インターネットなどの「情報技術」「情報システム」の発展・普及による社会全体のありかたの変容について説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体性を持って考えを整理し、根拠立てて説明している。	◎	◎	○	3
	ことばの働き／ものとことば 【知識及び技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・筆者の意見を踏まえた具体的事例を粘り強く分析し、学習課題に沿って自分の考えを深めようとしている。 ・教科書、プリント、ICTの活用	○	◎	【知識・技能】 言葉によって「もの・こと」は認識されるのであり、言葉が変わることによって認識される対象も変わるという唯名論的考えについて理解している。 【思考・判断・表現】 筆者が論じる「もの」と「ことば」の関係を的確に理解したうえで、異なる言語に見られる「認識される対象」の違いについて考察できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に具体的事例を探し、複数の資料を調べて考察を深めている。	◎	◎	○	3
	ことばの働き／知識のシステムをつくる 【知識及び技能】 推論の仕方を理解し使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・推論の仕方を理解し使っている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・筆者が述べる事例と、それとは対照的な事例の理由をそれぞれ粘り強く考察し、学習課題に沿って発表しようとしている。 ・教科書、プリント、ICTの活用	○	◎	【知識・技能】 母語と母語以外の習得について、筆者の論を交えながら、その違いも含めて筋道立てて考えることができる。 【思考・判断・表現】 「知識（スキーマ）」による「ことば（意味）の習得」という筆者の論を適切に要約したうえで、母語を習得しやすい理由を説明し、それに対比して、外国語を習得する場合の流れや難しさについて「知識（スキーマ）」の観点から具体的な例をあげて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体性をもって考えを整理し、根拠立てて発表している。	◎	○	○	3
	定期考査					○	○		1
	環境と科学／動物園というメディア 【知識及び技能】 個別の情報と一般化された情報との関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から適切な話題を決め、様々な観点から	・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 ・「話すこと・聞くこと」において、目的に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 ・筆者の考えを的確に理解したうえで	○	○	【知識・技能】 筆者の論を実社会の問題に関連づけて、具体的な取り組みの事例について考えることができる。 【思考・判断・表現】 ・具体例のどのような点に、筆者の言う「人間と自然との意味のある関係性」を見いだせるかを述べている。	○	○	○	3

環境と科学／科学コミュニケーション	・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・筆者の表現を積極的に読み解いて、その主張を理解したうえで、学習課題に沿って自分の意見を具体的に述べようとしている。 ・教科書、プリント、ICTの活用				【知識・技能】 根拠を具体的に示し、論理的に考えを述べることができている。 【思考・判断・表現】 次の二点を満たして述べる事ができている。 ・筆者が「遠因」という言葉を用いた意図を把握できている。 ・文系と理系を分ける要因に関する筆者の考えを吟味したうえで、具体的な事例と関連付けて自分の考えを述べる事ができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 率先して周囲と協調しながら根拠立てて話し合いに取り組み、自分の意見をわかりやすく述べようとしている。	◎	○	○	3
人間と時間／時間と自由の関係について	・実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・同じテーマの文章を積極的に読み解き、学習課題に沿って自分の考えを発表しようとしている。 ・教科書、プリント、ICTの活用	○		◎	【知識・技能】 「時間」に関する本を探して本文と読み比べ、それぞれの解釈を深めている。 【思考・判断・表現】 筆者の時間論を踏まえたうえで、「時間」について論じられた異なる文章を読んで内容を理解し、「時間」に対する自分の考えを適切にまとめる事ができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体性をもって学習課題に取り組み、感想を整理して他者にわかりやすく伝える事ができている。	◎	◎	○	3
人間と時間／時を編む人間	・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・筆者の考えを粘り強く読み解き、学習課題に沿ってまとめようとしている。 ・教科書、プリント、ICTの活用	○		◎	【知識・技能】 「時間がある」という筆者の言葉の意味するところを、的確に理解している。 【思考・判断・表現】 「時間」のあり方について、筆者が示す「空間化された時間」と「生きて動いている時間」という二通りの捉え方について理解したうえで、筆者が述べる「空間化された時間」と「生きて動いている時間」について、その違いも含めて、内容を説明することができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体性をもって筆者の考えを整理して、わかりやすくまとめている。	◎	◎	○	3
定期考査						○	○		1
認識の枠組み／浪費を妨げる社会	・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。 ・「読むこと」において、文章の内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	○		◎	【知識・技能】 文脈から筆者が意図する語の意味を的確に理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。 【思考・判断・表現】 筆者が主張する「浪費」と「消費」の違いや現代社会の特徴を正しく理解したうえで、自分にとっての「贅沢」がどのようなものであるかを具体的に示し、それを得るために必要なことに	◎	◎	○	3
認識の枠組み／他者を理解すること	・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・論理展開を押さえながら筆者の述べている内容を粘り強く読み解き、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。 ・教科書、プリント、ICTの活用	○		◎	【知識・技能】 筆者の論の展開に沿って、筆者の主張とその根拠を明示することができている。 【思考・判断・表現】 本文全体を通して「他者を理解すること」についての筆者の考えを理解し、「そのこと」が指示する内容を明らかにして、筆者の考えの筋道を正しく説明できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体性をもって粘り強く根拠立てて学習課題に取り組んでいる。	◎	◎	○	3

2 学 期	問題を提起する／感情暴走社会の由来 【知識及び技能】 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるときとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しむことを目指す／デジタルメディア時代の複製	・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 ・「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるときとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。 ・課題テーマについて積極的に自分の考えを深め、筆者の文章を参考にしながら、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。 ・教科書、プリント、ICTの活用	○		【知識・技能】 条件に沿って、文章の内容・構成を適切に組み立てることができている。 【思考・判断・表現】 条件にある、同意表現を導く「とは」や、逆接の接続詞「しかし」に注意し、筆者の考えの内容がわかるように説明できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 進んで本文を検討し、考えを整理して学習課題に取り組んでいる。	○	◎	○	3
	【知識及び技能】 主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しむ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 ・「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 ・筆者の主張を的確に理解したうえで積極的に自分の考えを深め、学習課題に沿って条件に即した形で論述しようとしている。 ・教科書、プリント、ICTの活用	○		【知識・技能】 条件に沿って根拠を明確に示し、論理的に意見を述べるができる。【思考・判断・表現】 本文中で述べられている「原形芸術」と「複製芸術」の違いを正確に理解したうえで、自分の考えを加えながら、「運動会は複製芸術ではない」という内容を論述できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体性をもって粘り強く考えを整理して学習課題に取り組んでいる。	○	◎	○	3
	定期考査					○	○		1
	賛否を述べる／命は誰のものなのか 【知識及び技能】 主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすることができる。 【知識及び技能】 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しむことを目指す／事実なのか考えるのか	・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 ・「書くこと」において、意図に応じて書かれているかを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 ・筆者の意見を参考にしながら、積極的に根拠や具体例を用いて論理を構成し、学習課題に沿って自分の意見を述べようとしている。 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 ・読み手を意識した構成・展開を積極的に考え、学習課題に沿って条件に即した文章をまとめようとしている。 ・教科書、プリント、ICTの活用	○ ◎		【知識・技能】 条件に沿って、本文に基づきながら根拠や具体例を明確に示し、論理的に意見を述べるができる。【思考・判断・表現】 筆者が論じる医学の発達と死の問題の複雑化との関連を理解し、「命はその人個人のものであるか」という問題提起に対する自分の考えを理由や具体例を交えながら論理的にまとめることができる。 【知識・技能】 A新聞の記事と逆の印象になるよう、多様な語句・表現を用いて、多角的にまとめることができる。 【思考・判断・表現】 A新聞は、「都市計画」を否定的に表現していることをおさえた上で、「規制」「景観の保持」といった事実をB新聞の立場（肯定的）で表現できている。A新聞の内容と同じ構成でB新聞の内容をまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 A新聞とB新聞の印象が異なる原因を積極的に検討し、より適切な表現について粘り強く考察している。	○	◎	○	4
			○			○	◎	○	4

[illegible]